

科学教育支援委員会の活動 (2025年度+)

Future

2025

公益社団法人 日本技術士会 千葉県支部

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央二丁目7番10号シャンボール千葉中央2階206号
TEL 043-301-2032 FAX 043-301-2031 E-mail: chiba@engineer.or.jp
URL: https://www.engineer.or.jp/c_shibu/chiba/

目次

	頁
1 科学教育支援委員会の意義 …… …	3
2 2025~2026年度の委員会主要活動表 …… …	4
3 市民来場科学体験イベントへの出展 …… …	7
4 個別校向け出前講座の代表例 …… …	9
5 理科研究発表審査員派出の主要例 …… …	10
6 新たな動き …… …	11
7 科学教育支援委員会の陣容 …… …	13
8 2025年度の総括と2026年度の展開 …… …	14

備考：本資料では、「公益社団法人日本技術士会」を「技術士会」と略記します。外部の組織・機関名につきましても、適宜に略記させていただきます。また、イベント情報の一部にはまるめ表記を用いました。

1 科学教育支援委員会の意義

委員会の役割

技術士の社会経験と専門業務の知見をもって、主に青少年向けに科学技術の啓発や理科教育の支援活動を担い、健全で活力と好奇心に溢れる人々の暮らしや社会の発展に寄与する。

委員会の活動方針

- (1) 技術士の層の厚み・多様性を活かした科学教育支援のマルチ展開
- (2) 学校等、他の組織（県外技術士会を含む）や人材との連携



- ①科学体験イベント出展、②出前講座、③理科学研究発表への審査員派出

基準：技術士の持ち味を実績にあぐらをかかず最新の動静に沿い活かすこと

2

2025年度の委員会主要活動表(1/3)

2025年度		場所
	学校法人八千代松陰学園 (以下「八千代松陰」) 土曜講座(4月19日~3月14日)22回 詳細別掲	同校対面, リモート様々
4月17日	匝瑳高校外部講師等による探究テーマ相談会 (年間を通じ理系生徒8名を指導)	同校対面 初回
4月17日	千葉県教育委員会生涯学習振興課「小中学生向け科学プログラム参入」会合(年9回)	同庁舎 初回
6月14-15日	青少年のための科学の祭典2025 千葉大会 4件出展 (高校とのコラボ)	きぼーるQiball
6月27日	千葉市立千葉高校「フルラインドローン講座計画」前年度八千代松陰実績説明	同校対面
7月11日	千葉市立稲毛高校「フルラインドローン講座計画」前年度八千代松陰実績説明	同校対面 初訪問
7月12日	八千代松陰土曜講座「会社起業の仕方…」日本弁理士会関東会	同校対面 初回
7月23日	千葉市高浜公民館親子・ファミリー講座「放射線の計測と防ぎ方実習」	同会館 初回
7月23日	八千代松陰 中学校科学部 夏期講座「各種生物からの色素抽出の実験・実習」	同校実習
7月31日	市川工業高校 中学生体験入学「LEDコマ製作」展示支援	同校工作実習
8月7日	茂原樟陽高校 第5回長夷地区研究発表会 & 理科実験教室「LEDコマ製作」	同校対面及び 工作実習
8月26日	千葉市立横戸小学校アフタースクール「すごろく 気候変動適応への道」 <small>環境省コンテンツ</small>	同校実習 初回

凡例) : 市民来場科学体験イベントへの出展 : 個別校出前講座、工作実習ほか 「○○…」 : 講座名をまるめ表示 : 審査委員派出

2

2025年度の委員会主要活動表(2/3)

2025年度		場所
9月18日	千葉市立園生小学校放課後子ども教室「GPSはどこまで正確なの?他」	同校実習
9月27日	国立大学法人 千葉大学主催 第19回高校生理科研究発表会 審査委員11名派出	同大学対面 西千葉キャンパス
9月27日	姉崎高校 ものづくりコース3年生技能教育&公開講座「潤滑油の科学」	同校対面
10月11-12日	千葉市科学フェスタ2025 メインイベント 7件出展 (高校とのコラボ)	きぼーるQiball
10月18日	八千代松陰 土曜講座「ドローン操縦ワークショップ1」 午後に中級講座も追加	同校操縦実習
10月22日	千葉市立生浜東小学校アフタースクール「実は知らないロボットのしくみ」	同校対面
11月8日	八千代松陰 土曜講座「ドローン操縦ワークショップ2」 午後に中級講座も追加	同校操縦実習
11月16日	未来の科学者育成プログラム「ビオトープ、生態系について」	中央博物館生態園 対面&野外実習
11月22日	未来の科学者育成プログラム「『ドローン』というコトバ」	千葉市科学館 対面&操縦実習
11月27日	匝瑳高校「総合的な探求の時間」生徒個別探求中間報告会	同校発表対面
12月11日	千葉市国家戦略特区推進課他「ドローン等技術士会教育コンテンツのPR」相談	同庁舎
12月20日	千葉市立 千葉高等学校主催 CCSS Fair 2025 指導助言者6名派出	同校対面

凡例) : 市民来場科学体験イベントへの出展 : 個別校出前講座、工作実習ほか 「○○…」 : 講座名をまるめ表示 : 審査委員派出

2

2025年度の委員会主要活動表(3/3)

2025年度		場所
12月23日	八千代松陰 中学校科学部 冬期講座 「LEDコマ製作」	同校工作実習
1月10日	匝瑳高校DXハイスクール 「3Dプリンター講座」	同校プログラミング 及び製作実習
1月15日	姉崎高校 ものづくりコース3年生技能教育 「LEDコマ製作」	同校工作実習
1月20日	千葉市立みつわ台南小学校アフタースクール 「デジタル工作で遊ぼう…」	同校対面
1月29日	長生高校 SS工学講座 「未来のパートナー 最新ロボット導入事例…」	同校対面
1月29日	千葉市立千葉・稲毛高校 「フルラインドローン講座(1/3) ドローン概説」	市立千葉高校 対面
1月31日	千葉市立千葉・稲毛高校 「フルラインドローン講座(2/3) トイドローン操縦実習」	市立千葉校プログラミング 及び製作実習
3月6日	千葉市立花島小学校アフタースクール 「デジタル工作で遊ぼう…」	同校対面
3月14日	千葉市立千葉・稲毛高校 「フルラインドローン講座(3/3) Phantomドローン操縦実習」	市立稲毛校 操縦実習
3月18日	匝瑳高校 「総合的な探求の時間」 高2生徒全員探求発表会	同校対面
2025年度を通じ	2026年度からの新規校・機関への進出及び新分野（中学生部活支援等）開拓の仕込みも行ったきた。 (次年度に続く)	

凡例) : 市民来場科学体験イベントへの出展 : 個別校出前講座、工作実習ほか 「○○…」 : 講座名をまるめ表示 : 審査委員派出

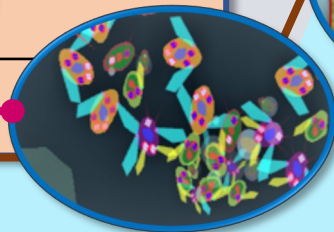
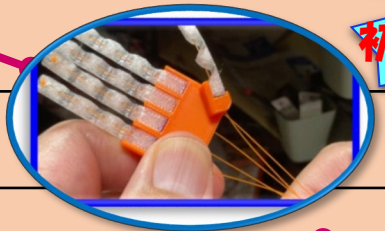
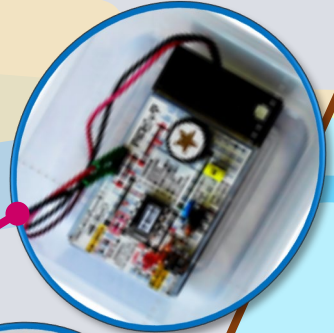
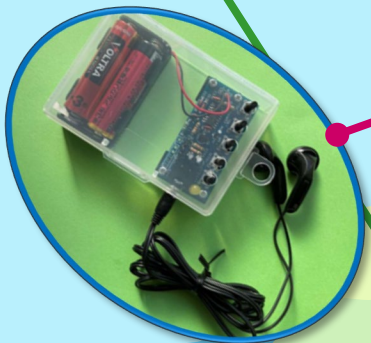
3 市民来場科学体験イベントへの出展

6月青少年のための科学の祭典 & 10月千葉市科学フェスタ 会場：きぼーる

(公財) 日本科学技術振興財団が主催する全国規模行事。
開始年は1992年。千葉大会(2025/6/14-15(土日))

千葉市が主催する市民向けの科学行事。開始年は2011年。
2日間集中のメインイベント(2025/10/11-12(土日))

No.	展示名称	
①	回すと光が点滅するLEDコマを作ろう	市川工業高校コラボ
②	PICメロディーの小箱工作	市立千葉高校コラボ
③	災害時にも役に立つFMラジオを作ろう	京葉工業高校コラボ
④	強力クリップモーターを作ってみよう	初出展
⑤	ミニドローン及びドローンシミュレータで遊ぼう	初出展
⑥	ロボットハンドを作ってみよう	初出展
⑦	TVで顔認識～帽子をポン～	
⑧	生態系シミュレータで遊ぼう	



3 市民来場科学体験イベントへの出展

10月11-12日(土日) 千葉市科学フェスタ 会場：きぼーる スナップ写真

1Fきぼーる広場
南西エスカレーターより臨む



公式ホームページ
<https://chibashi-science-festa.com/>

PICメロディーの小箱

生態系シミュレータ

TV顔認識 帽子をポン

1Fきぼーる広場
南東2Fより玄関方向を臨む

ドローンシミュレータ

FMラジオ

強力クリップモータ

カラーセンサー

ロボットハンド

Telloドローン操縦

：今回初出展

※本頁の写真は肖像権配慮上画素を粗く加工することも踏まえ撮影先機関から使用及び開示許可をいただいております。

4 個別校向け出前講座の代表例

学校法人 八千代松陰学園 土曜講座 登壇 (2025年度22回、26年度同規模)

同学園年度150講座の科学部門／技術士プロフェッショナルシリーズを担当

八千代松陰学園土曜講座サイト <https://www.yachiyoshoin.ac.jp/shs/education-s/saturday/>



9月千葉大学 及び 12月市立千葉高等学校のポスター発表会

2025/9/27(土)@千葉大学西千葉キャンパス

2025/12/20(土)@市立千葉高校

★第19回千葉大学高校生理科学研究発表会

★Chiba Cross School Science Fair 2025

- 千葉大学主催、千葉県教育委員会共催で平成19年度から毎年実施する全国の高校生が応募参加する自然科学分野の研究発表会（今回427件、審査委員144名）

- SSH市立千葉高等学校主催、千葉市教育委員会共催で平成25年度から毎年実施する市内小・中・高校生参加の理科学研究の発表会（今回教室会場68件、指導助言者24名）

ポスター発表会及びWeb補足コメント形式

https://www.youtube.com/watch?v=Qh_5RfvlU8g

https://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/event/history/2025/PS25_jissigaiyou1.pdf

技術士会から審査委員を11名(前年度7名)派出

ポスター発表会形式

技術士会から指導助言者を6名(前年度6名)派出



青少年向けドローン教育事業(2年目)の進展

★2025年度は7回の講座&展示を実施。エポックは千葉市人口密集地内の公立高校でのフルラインドローン講座を実現



千葉県支部講師泉館浩次郎技術士



千葉市立稲毛高校



千葉市立千葉高校



ドローン講座開拓パイロット校
私立八千代松陰学園

協力：ドローンスクール千葉TBT

<https://ds-chiba-tbt.jp/>



千葉市科学フェスタ



未来の科学者育成プログラム

：今回初実施

※本頁の写真は肖像権配慮上画素を粗く加工することも踏まえ撮影先機関から使用及び開示許可をいただいております。

7 科学教育支援委員会の陣容

☆ 委員は千葉県支部会員の有志をもって編成。この他にサポーターが 38名(総員1年で7名増)います。サポーターとは、在地、職分を問わず、自薦・他薦を委員会承認にて参加された方々です。

委員長	西田 宏	2014FY~	副委員長	松井 啓一	2017FY~
副委員長	安部 毅	2021FY~	副委員長	小林 創	2021FY~
	泉舘 浩次郎	2018FY~		白子 行成	2022FY~
	吉川 圭子	2018FY~		三井 宣夫	2012FY~
	吉岡 樹男	2023FY~		沼畑 和喜	2025FY~
	川畑 真一	2012FY~		伊藤 明	2024FY~
	鈴木 敦	2023FY~		島田 道雄	2021FY~

計 14名 登録年度はサポーターからを含む。

〔2026年5月末現在〕

8 2025年度の総括と2026年度の展開

◆ 多様な人材を活かし、支援態勢の更新と多方面への新規展開を達成

・これまでの実績を踏まえ、ニーズ・ブランディング・シーズ・予算の枠組みが1ステージアップ！

- ① 科学体験イベント出展：6月科学の祭典4件(前年2件)と10月千葉市科学フェスタ7件(前年10件)のうち高校コラボは5件(前年5件)、新規コンテンツは3件(前年2件)、別枠は1件(前年同)と転換期にある。
- ② 個別校向け出前講座：基幹校私立八千代松陰学園は土曜講座22回(前年同)・中学科学部2回(前年4回)、公立校は計8回(前年同)(新規は市立千葉高校、市立稲毛高校、匝瑳高校 小計4回)と安定かつ転換期にある。
 - ・新規千葉市教委生涯学習部系科学教育講座が9回と一気に新たな柱となる。🌸
 - ・2年目の青少年向けドローン教育は7回(前年4回)で千葉市内新規5回と地保を固める。🌸
- ③ 理科研究発表への審査員派出：9月千葉大主催高校生理学研究発表会は11名(前年7名)と堅調拡大、12月市立千葉高校主催CCSSFは6名(前年同)及び8月長夷地区研究発表会は2名(前年同)、以上は継承安定。
 - ・新方式・新規匝瑳高校2年生総合探求への外部講師7名参加は課題を残しつつ継承中。🌸

※全国でも珍しい①②③3本柱の業容を更新・充実中。②を中心に委員会陣容は増強(+7名)計52名

◆ 2026年度は科学教育支援態勢の持続性あるアップデートを最重視

・安定を見据えブランディング強化、予算管理強化、技術士会内連携の強化 (Not 千葉県支部ファースト)

※新規開拓(千葉市外高校・公民館出前講座、千葉市内中学生部活支援等々)の熱量は維持!!

END

2026年5月

公益社団法人 日本技術士会 千葉県支部



ホームページ